

ソフトバンク株式会社

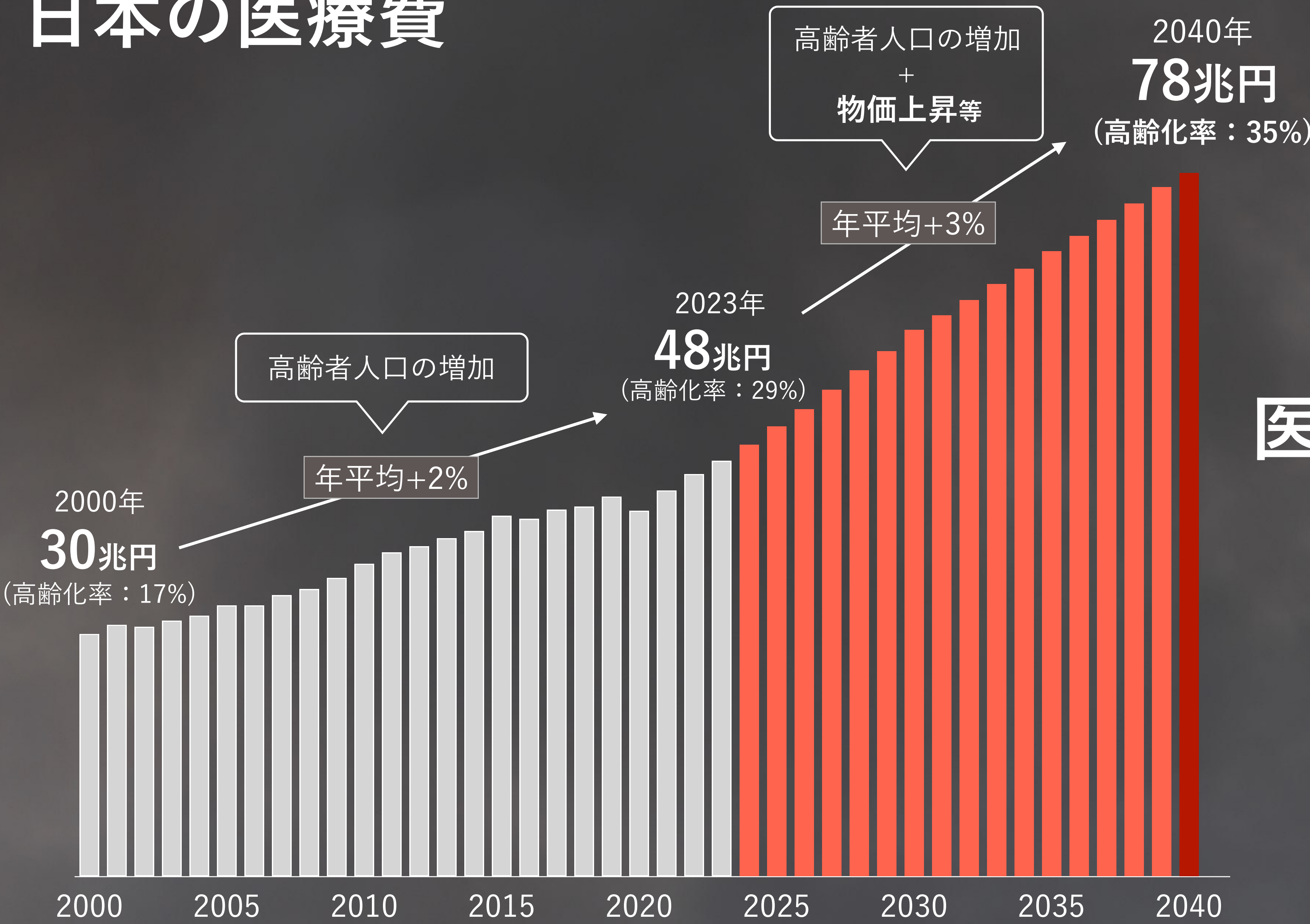
代表取締役 社長執行役員 兼 CEO

みやかわ

じゅんいち

宮川 潤一

日本の医療費



医療の持続可能性が
社会課題

※2020~2023年 実績値：厚生労働省「令和5(2023)年度 国民医療費の概況」を基に作成。
※2024~2040年 推計値：内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省「2040年を見据えた社会保障の将来見通し（議論の素材）」を基に作成。
2030/2035/2040年度は、同資料における「計画ベース」の公表値のうち、賃金上昇率・物価上昇率を基に医療費の伸びを算定したケースを参照。中間年度は各区間のCAGRにより補間。
※高齢者人口：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（全国）」のデータ参照。
※人口比率：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2026」および「日本の将来推計人口（令和5年推計）」出生中位・死亡中位推計。2025年は推計値。割合は年齢不詳を按分した人口に基づく。

本提携の意義 持続可能な医療の実現を目指す



健康データ

×

医療データ

 SoftBank

 FUJITSU

提携の全体像

個人

企業

自治体

医療機関

創薬・研究機関

国産ヘルスケア基盤

ユーザーアプリ



FUJITSU

リード

SoftBank

データプラットフォーム



FUJITSU

リード

SoftBank



健康データ



医療データ



データを活用した新たなヘルスケアサービスの提供

身体データ

(性別・年齢・身長・体重など)



生活・行動データ



バイタルデータ



ユーザー アプリ

電子カルテデータ



処方・服薬データ



検査データ



ユーザーアプリ(生活習慣改善①)

健康データ

歩数・運動

平均 3,200歩



医療データ

健診結果

血圧が高め
(軽度高血圧)

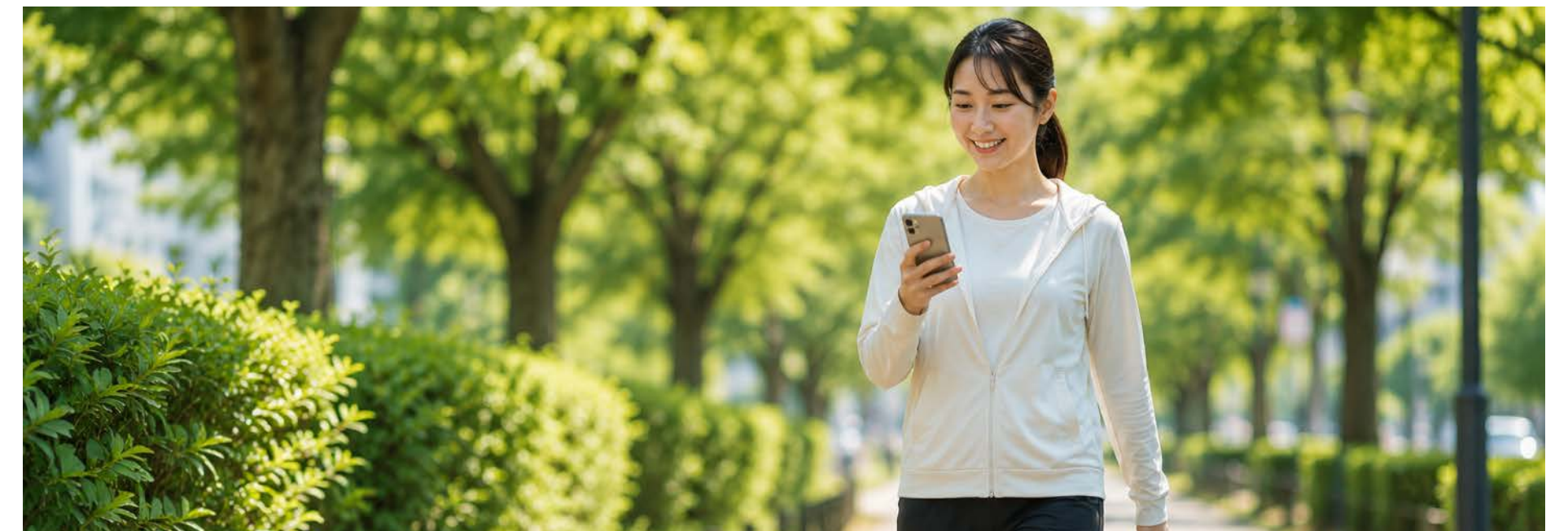


生活習慣改善アドバイス

“プラス15分”歩いてみましょう

軽い運動を継続することが大切です。

まずは毎日15分、
歩く時間を増やしてみましょう。



*記載内容は構想段階のものであり、実際の提供機能とは異なる場合があります。

ユーザーアプリ(生活習慣改善②)

健康データ

睡眠時間

平均 4時間45分



医療データ

処方履歴

睡眠外来を受診
(睡眠導入剤の処方あり)



生活習慣改善アドバイス

就寝“1時間前”には
スマホを置きましょう

睡眠前はリラックスできるような
環境を作ることが大切です。

睡眠の質を低下させるため、
就寝前のスマホ操作は控えましょう。



*記載内容は構想段階のものであり、実際の提供機能とは異なる場合があります。

ユーザーアプリ(生活習慣改善③)

健康データ

食事内容

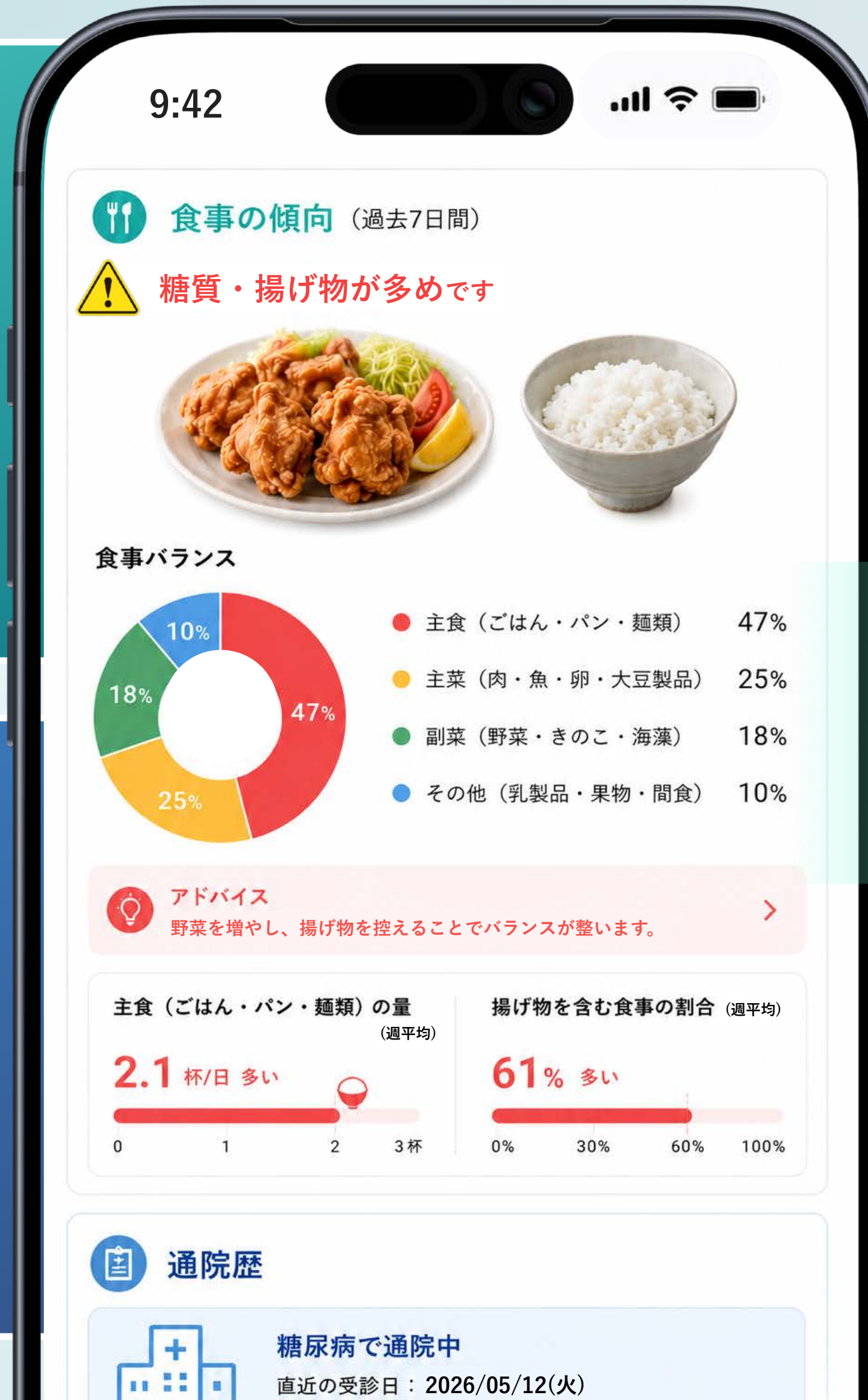
糖質・揚げ物が多め



医療データ

病歴

糖尿病の病歴あり



生活習慣改善アドバイス

食事バランスを意識しましょう

糖尿病の病歴があるため、**血糖値の急上昇**に注意が必要です。

野菜やたんぱく質を増やすなど、**食事バランス**を見直してみましょう。



*記載内容は構想段階のものであり、実際の提供機能とは異なる場合があります。

ユーザーアプリ(受診予約・決済)

受診予約



症状や受診履歴等を踏まえた
病院候補の提示・予約・変更

決済



診療後の支払いを
アプリ内で完結

*記載内容は構想段階のものであり、実際の提供機能とは異なる場合があります。

 SoftBank

LINE

1億人

YAHOO!
JAPAN

8,300万人

 PayPay

7,400万人

 SoftBank

3,200万人



 SMBC
三井住友カード

4,200万人

銀行口座

3,000万

Olive

750万

FUJITSU

電子カルテ導入院数
(病院)

1,600院

電子カルテ導入院数
(診療所)

2,850院

6,000万人規模のユーザー利用を目指す

LINE：1ヶ月の間に一度でも「LINE」を起動したユーザーアカウントの数（2025年12月時点）、Yahoo! JAPAN：ニールセン「TOPS OF 2025: DIGITAL IN JAPAN」2025年1月～10月までの月平均利用者数。スマホ/PCのユーザー重複を含まない
PayPay：登録ユーザー数（2026年5月時点）SoftBank：ソフトバンク・Y! Mobile スマートフォンユーザー数（2026年3月時点）
三井住友カード：クレジットカード会員数（2026年3月時点）、銀行口座：法人・個人口座合算数（2026年4月時点）、Olive：アカウント数（2026年1月時点）
電子カルテ導入院数（病院）：富士通独自調べ（2025年12月時点）、電子カルテ導入院数（診療所）：富士通独自調べ（2025年9月時点）



未来のヘルスケア医療の基盤へ



本取り組みによって目指す姿

診療情報共有

処方情報連携

予防・健康支援



5兆円規模の医療費の抑制に向け、
データとAIで医療リソースの最適化に取り組む

個人・医療機関・国/自治体 すべての人々にとって価値ある基盤の実現へ



医療機関



個人



国/自治体

